

表の公否の賛

※採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。これ以外の案件は全会一致で可決等されています。
なお、紙面の都合で賛成・反対討論は抜粋し掲載いたします。

● 採決結果一覧表 ●

(賛成=○、反対=×)

議席	氏名	会派	議案第19号 [修正動議]	議案 第19号	請願 第2号
1	鈴木 雅彦	奥和会	×	○	×
2	千葉 敦	日本共産党	○	×	○
3	廣野 富男	市民クラブ	×	○	×
4	佐藤 洋	新世会	×	○	×
5	菊池 利美	新世会	×	○	×
6	及川 佐	奥和会	×	○	○
7	菅原 圭子	新世会	×	○	×
8	菅原 由和	奥和会	×	○	×
9	飯坂 一也	公明党	×	○	×
10	高橋 政一	市民クラブ	×	○	○
11	佐藤 郁夫	市民クラブ	×	○	○
12	千葉 正文	奥和会	×	○	×
13	加藤 清	無会派	×	○	×
14	阿部加代子	公明党	×	○	×
15	中西 秀俊	奥和会	×	○	×
16	小野寺隆夫	奥和会	×	○	×
17	菅原 明	日本共産党	○	×	○
18	中澤 俊明	奥和会	×	○	×
19	千葉 悟郎	市民クラブ	×	○	○
20	藤田 慶則	奥和会	×	○	×
22	今野 裕文	日本共産党	○	×	○
23	渡辺 忠	奥和会	×	○	×
24	佐藤 邦夫	市民クラブ	×	○	×
25	内田 和良	無会派	×	○	○
26	千田美津子	日本共産党	○	×	○
27	及川 善男	日本共産党	○	×	○
28	小野寺 重	無会派	×	○	×
賛成：反対			5:22	22:5	10:17

※議長は採決には加わりません

(注1) 請願第2号は原案についての表決

(注2) 請願の審査内容はP18に掲載

○議案第19号 平成26年度奥州市一般会計補正予算(第3号)に対する修正動議

修正動議の内容…道路新設改良事業経費のうち、谷子沢南前川山線舗装新設工事費3億2千万円を減額修正しようとするもの

反対討論 本路線は20年以上も国、県、奥州市、合併前の胆沢町が連携しながら計画を進めてきたものである。地元からの早期全線開通の要望もあり、新市建設計画に搭載

され長期財政見通しに組み入れられている事業である。さらに、「地域の元氣臨時交付金事業基金」創出により財源の確保見通しが立った。まさに今、事業着手の条件が整ったものと考ええる。平成22年度には一関市側の舗装工事は完了し、速やかな事業遂行は広域的な観光振興、地域振興に大きな効果が考えられることから、修正案に反対する。

賛成討論 300項目にもわたる、事務事業の見直しを検討されており、乳幼児の医療費助成などが市単独事業の廃止などが



常任委員会による現地調査：谷子沢南前川山線

言われている。また生活道路などの舗装もままならないこの時に、このような緊急性に疑問のある3億円を超える事業は一気に今年度中に施工する必要性は乏しいと考える

こと、修正案に賛成する。

○請願第2号 ふたたび被爆者をつくらないために「現行法」(原子爆弾被害者に対する援護に関する法律)改正を求める請願【教育厚生常任委員会の審査結果「不採択」に対する討論】

反対討論 広島、長崎に投下された原子爆弾は、大量無差別に人々を殺した。被爆から70年になろうとしている今なお、甲状腺や肝機能障害などの病気、原爆症で苦しんでいる人がいる。原爆症と認定されている人は、全国に8千人程度で、被爆

者健康手帳を持つ21万人の4パーセントにも満たない状況である。

平成19年3月議会で非核平和都市宣言をこの議会としても全会一致で議決しており、また市長は平和市長会議の会員にもなっている。どこよりも率先して、ふたたび被爆者をつくらないという立場で請願を採択すべく委員長報告に反対する。

賛成討論 今まで原爆についての裁判・判決を受け、国はその都度制度の拡充については努めてきているのは事実である。原爆だけではなく、他の戦争、太平洋戦争で被害あった方々も同じ命ではないか。国の償いの範囲を考えた場合、すべての被爆者となるがやはりこれは現実的に無理だと考える。今までも医療的な見地から積極的に国は認定をしてきた。科学的な見地からもう限界だということ、昨年、国の検討会で専門家が話をしていてという観点から、原案に反対し委員長報告に賛成する。